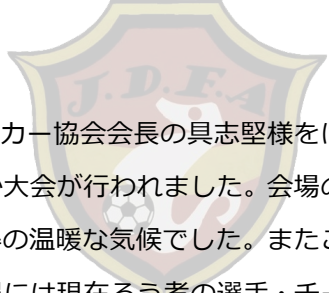


【 第48回全国ろうあ者体育大会 】



沖縄にて第48回全国ろうあ者体育大会が開催されたくさん試合を観戦することができました。会場には沖縄県サッカー協会会長の具志堅様をはじめ協会の役員の皆様が会場まで足を運んでくださり、沖縄高校女子サッカー部員のサポートがあり快適な天候のなか大会が行われました。会場の1つは毎年ヤクルトスワローズが合宿を行う会場で、他多くのJリーグ、プロ野球チームが沖縄で合宿を行うのも納得の温暖な気候でした。またここで代表合宿や大会を開催してくださいとお声をかけて頂きましたのでぜひ機会があればと思っております。また沖縄には現在ろう者の選手・チームがなく初めてデフサッカーを観られたとのことですが聞こえないことを感じさせないプレーやレベルの高い選手をみられて驚かれていました。大会の結果は東京が2年連続優勝、準優勝福岡、3位茨城、4位神奈川でした。まだ1度も監督が変わってから代表合宿に召集できていない選手の中にいい選手を見つける事ができ収穫が多くありました。デフリンピックアジア予選に向け来年最初の合宿時に新たに召集させて頂きますのでぜひ参加お待ちしております。視察は選手を発掘するだけでなく現代表選手のプレーをみて現在の状態を把握するのも大きな目的のひとつです。代表はサッカーの頂点で、普段の所属チームでプレーする時とストレスも違うと思います。チームの状態によって調子が良い時と悪い時あると思いますし、代表選手ということで周囲の期待値が上がって、自然とミスをしたくないと思うようになると思います。自分は代表選手だからボールを取られたくない、自分がやらなくてはと強く思いすぎて変に力が入ってしまいミスを恐れていないでしょうか。またそういった時は、周りが見えていないことが多くあり次のプレーのイメージがないので判断が遅くなり時間がかかり安全な選択を選び後ろへのパスが増えてしまいます。その時間を相手に与えることによって守備を固められてしまい結果、得点の機会を失ってしまうのです。次に頑張ろうではダメなのです、現在を頑張れない(戦えない)選手は次も戦えません。世界と戦っていく上で普段の練習や試合の中でだして行ってほしいです。代表とはチームでないといけませんし、個がしっかりしていなければいけませんし、個がチームのためにプレーしなければいけません。だからこそ個が強くならなきゃいけません。選手の質があがればチーム力も上がってきますがこちらから与えている動きだけしていても発展はありません。システムも大事ですがそれを進歩させていくのは選手自身ですのでもっと考えながら、楽しみながらプレーしてください。また普段の日常からいまの自分の状態が何パーセントなのかをたえず把握できる力もつけて行ってほしいと思っております。